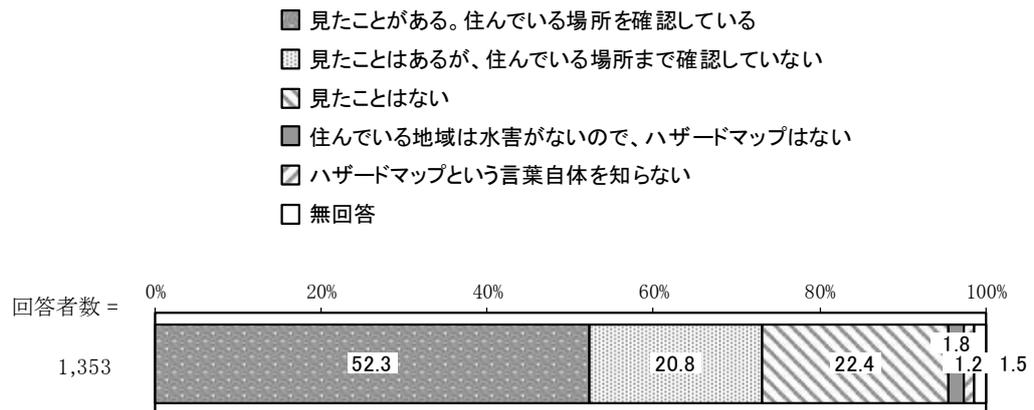


## 第1章 防災について

問16 あなたは、お住まいの地域の洪水ハザードマップを見たことがありますか。  
(最もあてはまるものに1つだけ○印)

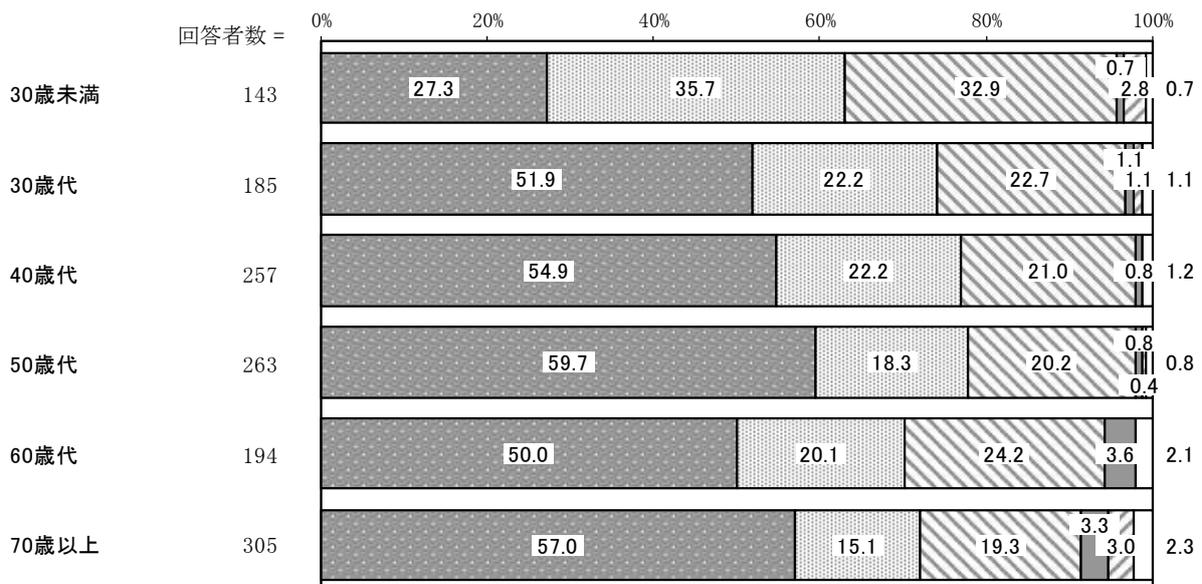
「見たことがある。住んでいる場所を確認している」の割合が52.3%と最も高く、次いで「見たことはない」の割合が22.4%、「見たことはあるが、住んでいる場所まで確認していない」の割合が20.8%となっています。

図表1-1 地域の洪水ハザードマップの認知度（単純回答）



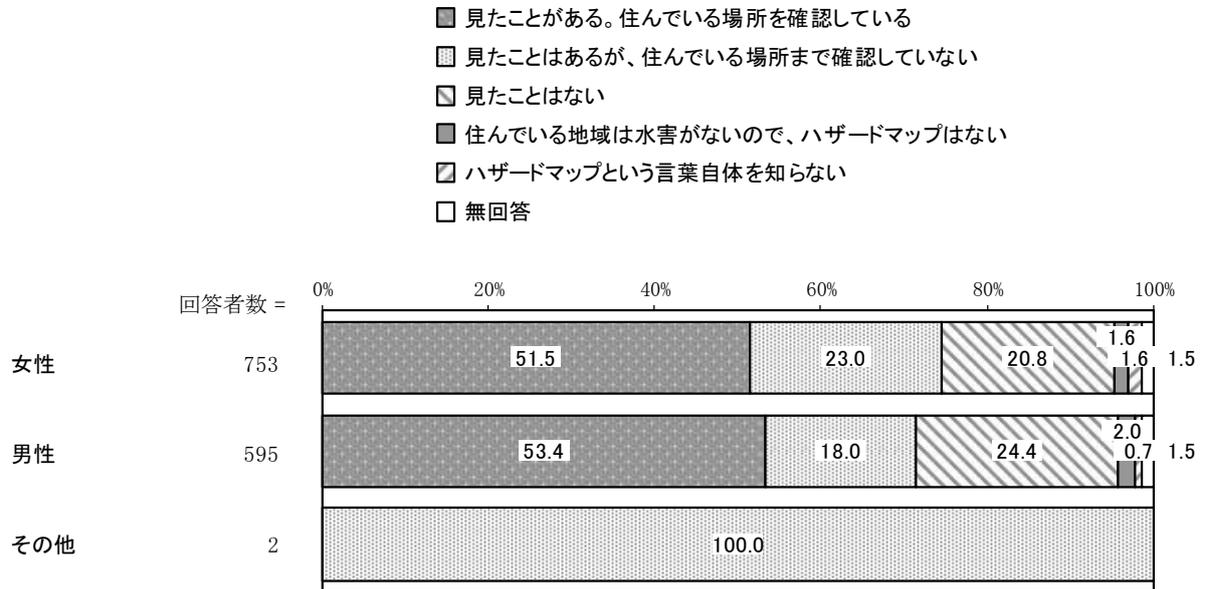
年齢別でみると、50歳代で「見たことがある。住んでいる場所を確認している」の割合が最も高くなっています。また、30歳未満で「見たことはない」の割合が高くなっています。

図表1-2 地域の洪水ハザードマップの認知度（年齢別）



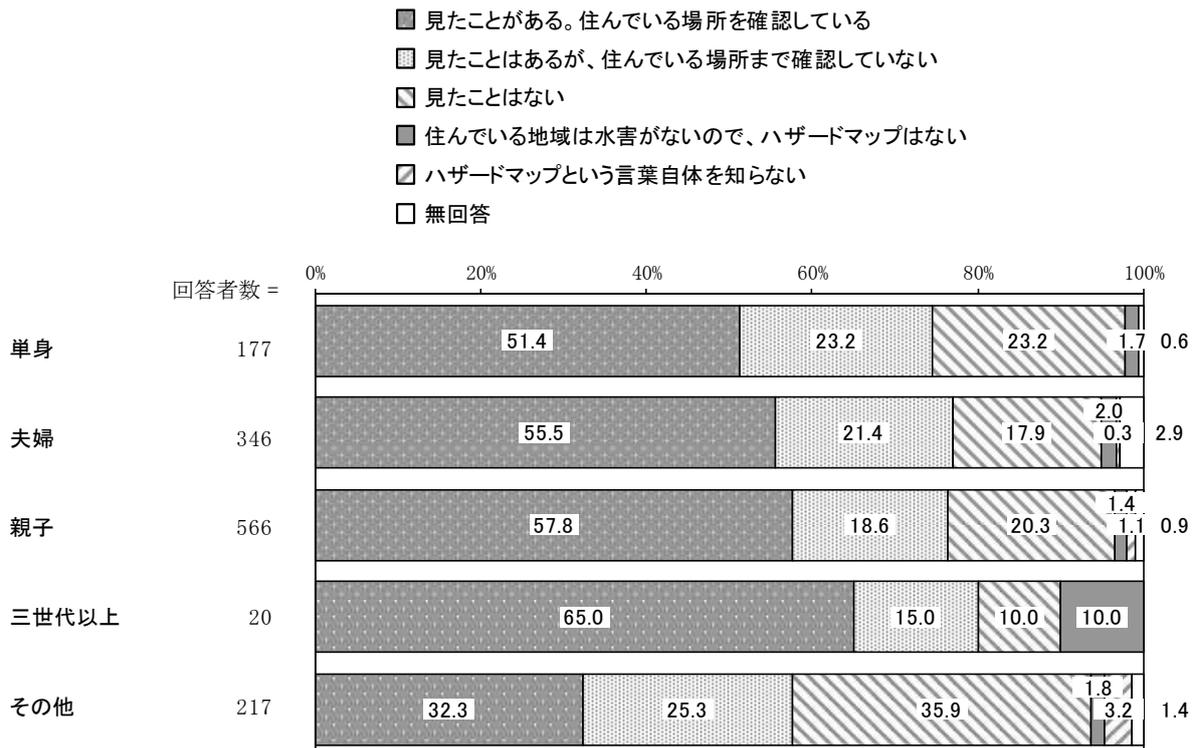
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 1-3 地域の洪水ハザードマップの認知度（性別）



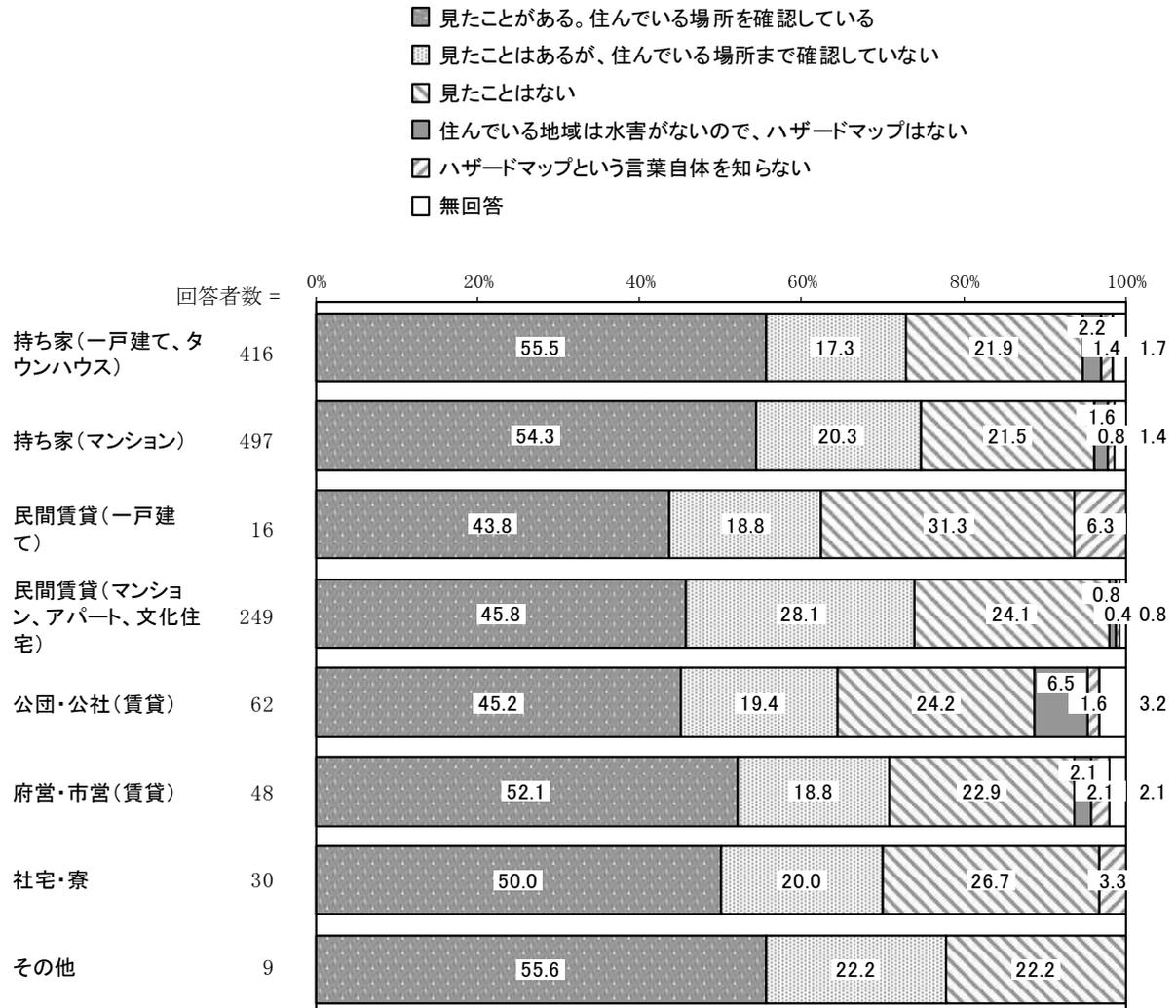
家族構成別でみると、他に比べ、親子、三世代以上で「見たことがある。住んでいる場所を確認している」の割合が高くなっています。

図表 1-4 地域の洪水ハザードマップの認知度（家族構成別）



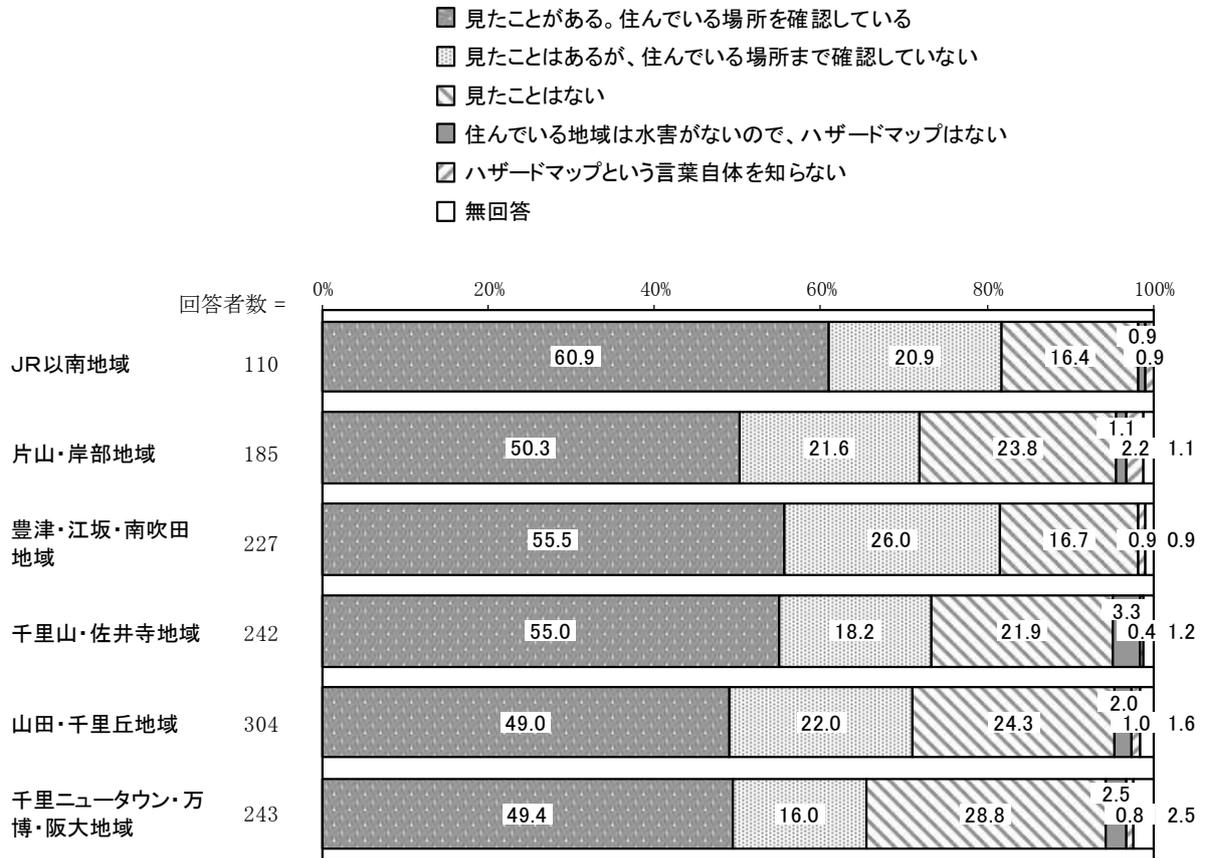
居住形態別で見ると、他に比べ、持ち家（一戸建て、タウンハウス）、持ち家（マンション）で「見たことがある。住んでいる場所を確認している」の割合が高くなっています。また、民間賃貸（一戸建て）で「見たことはない」の割合が高くなっています。

図表 1 - 5 地域の洪水ハザードマップの認知度（居住形態別）



居住地域別で見ると、他に比べ、JR以南地域で「見たことがある。住んでいる場所を確認している」の割合が高くなっています。また、千里ニュータウン・万博・阪大地域で「見たことはない」の割合が高くなっています。

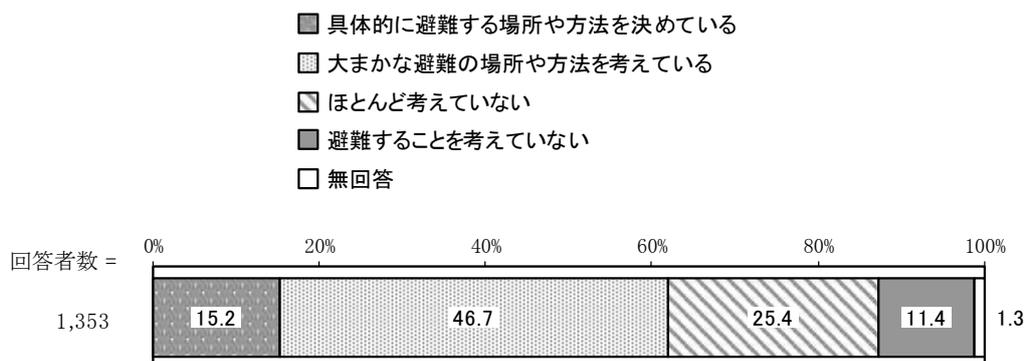
図表1-6 地域の洪水ハザードマップの認知度（居住地域別）



問 17 あなたは、風水害の際に避難する場所や方法を決めていますか。  
 (最もあてはまるものに1つだけ○印)

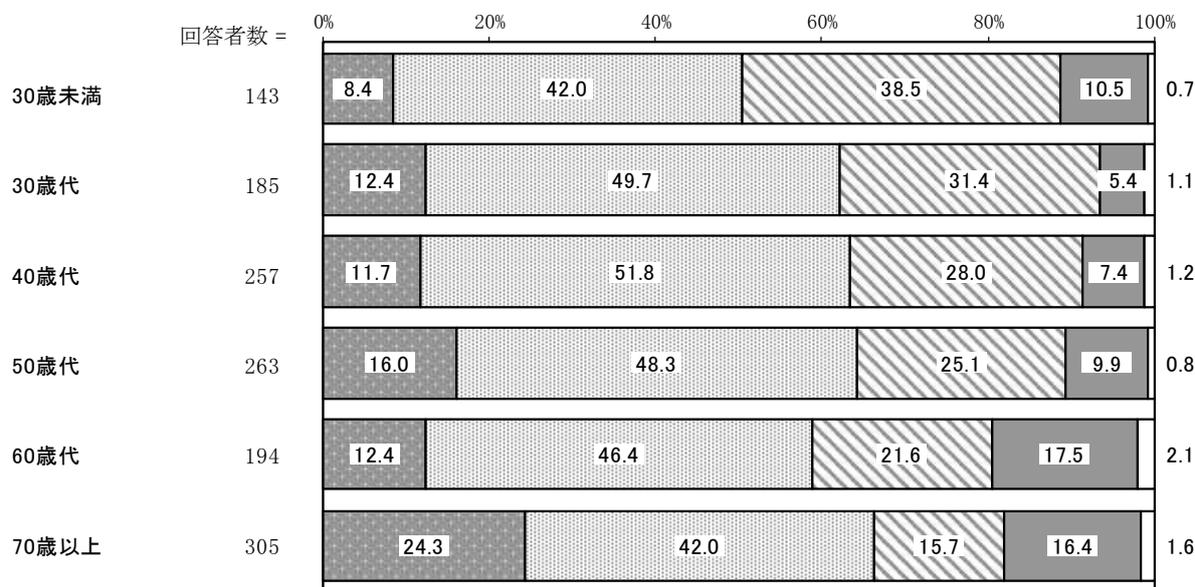
「大まかな避難の場所や方法を考えている」の割合が46.7%と最も高く、次いで「ほとんど考えていない」の割合が25.4%、「具体的に避難する場所や方法を決めている」の割合が15.2%となっています。

図表 1 - 7 風水害の際に避難する場所や方法 (単純回答)



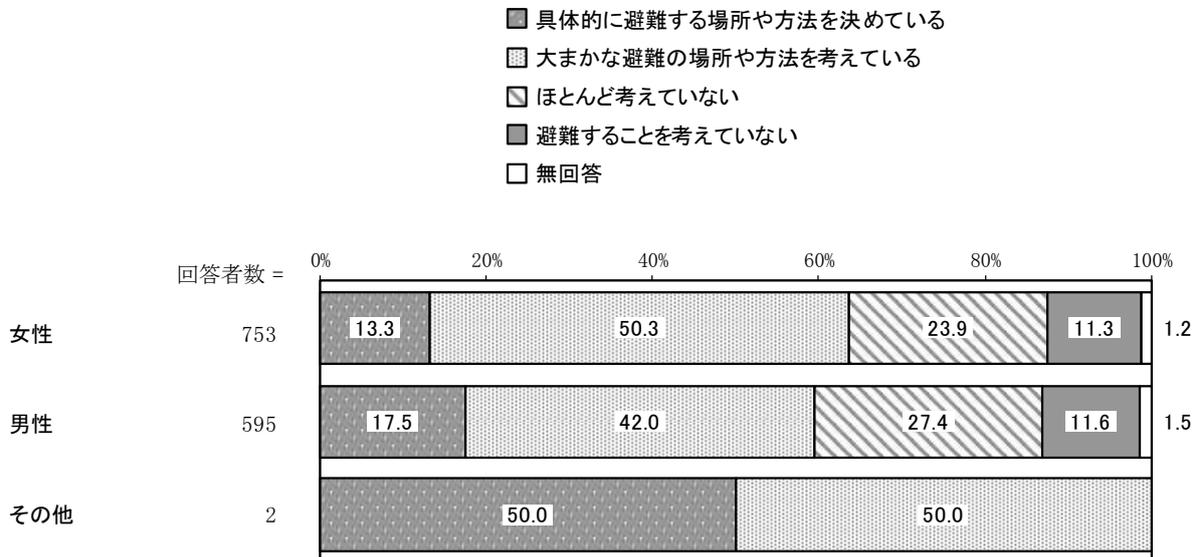
年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「ほとんど考えていない」の割合が高くなっています。

図表 1 - 8 風水害の際に避難する場所や方法 (年齢別)



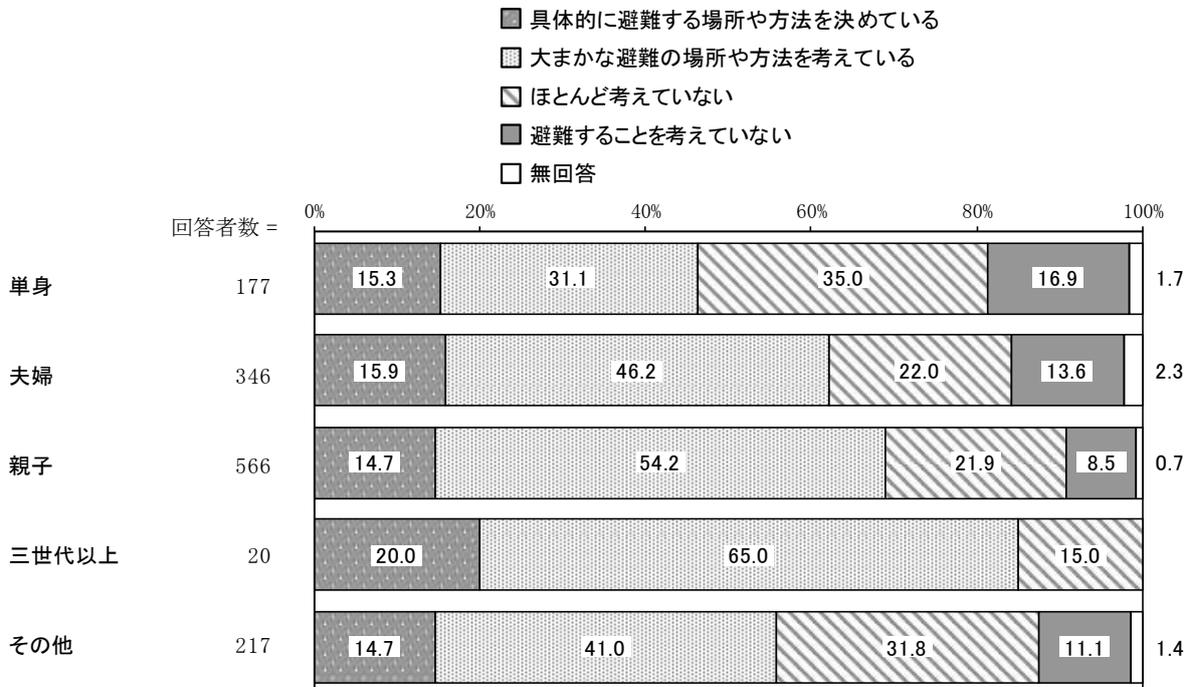
性別でみると、男性に比べ、女性で「大まかな避難の場所や方法を考えている」の割合が高くなっています。

図表 1-9 風水害の際に避難する場所や方法（性別）



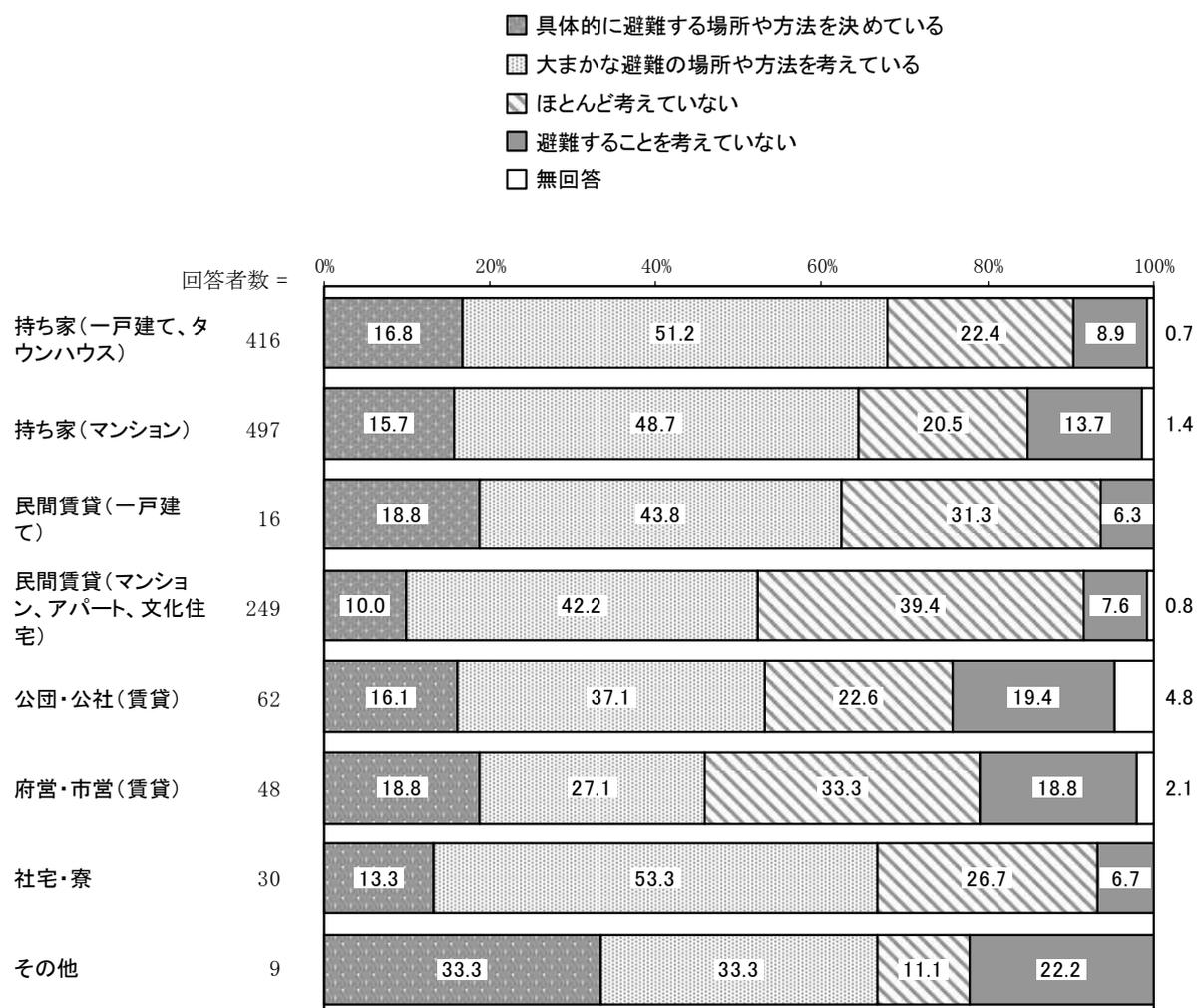
家族構成別でみると、他に比べ、三世代以上で「大まかな避難の場所や方法を考えている」の割合が高くなっています。

図表 1-10 風水害の際に避難する場所や方法（家族構成別）



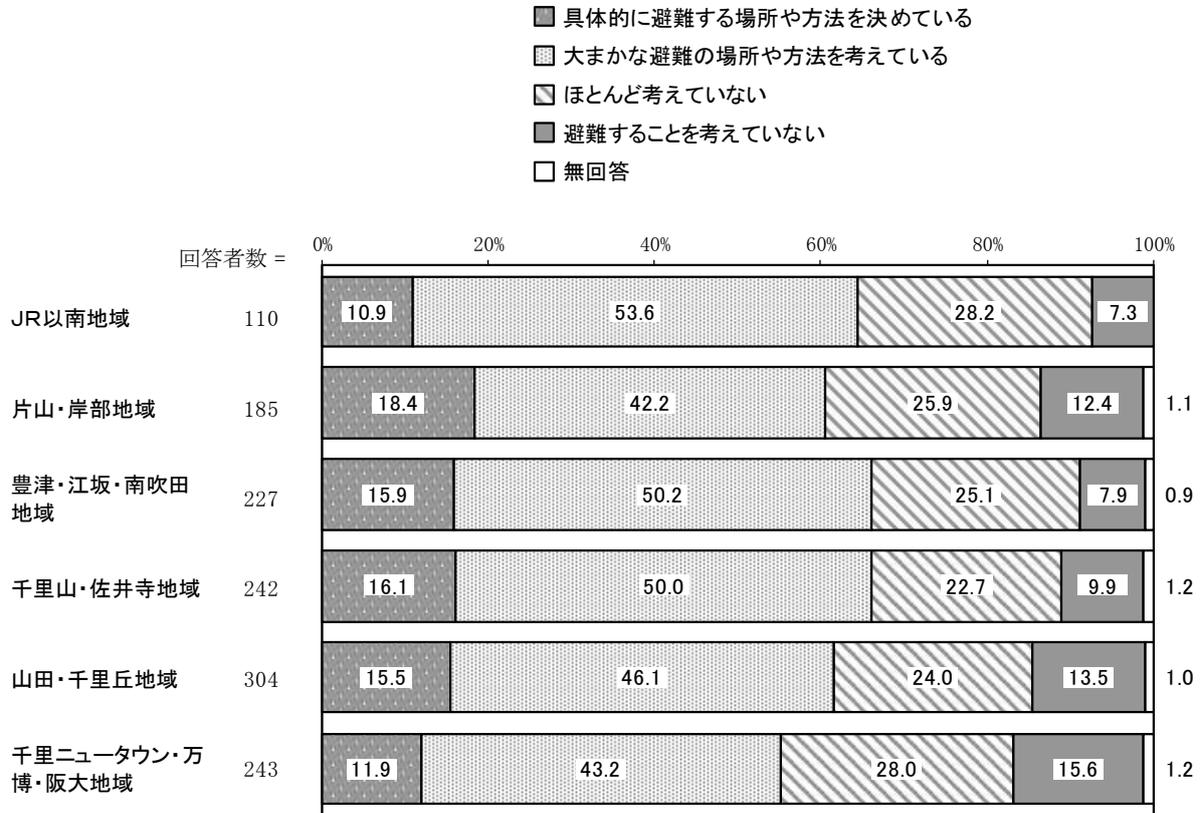
居住形態別で見ると、他に比べ、持ち家（一戸建て、タウンハウス）、持ち家（マンション）、社宅・寮で「大まかな避難の場所や方法を考えている」の割合が高くなっています。また、民間賃貸（マンション、アパート、文化住宅）で「ほとんど考えていない」の割合が高くなっています。

図表 1-11 風水害の際に避難する場所や方法（居住形態別）



居住地域別で見ると、他に比べ、JR以南地域、千里ニュータウン・万博・阪大地域で「ほとんど考えていない」の割合が高くなっています。

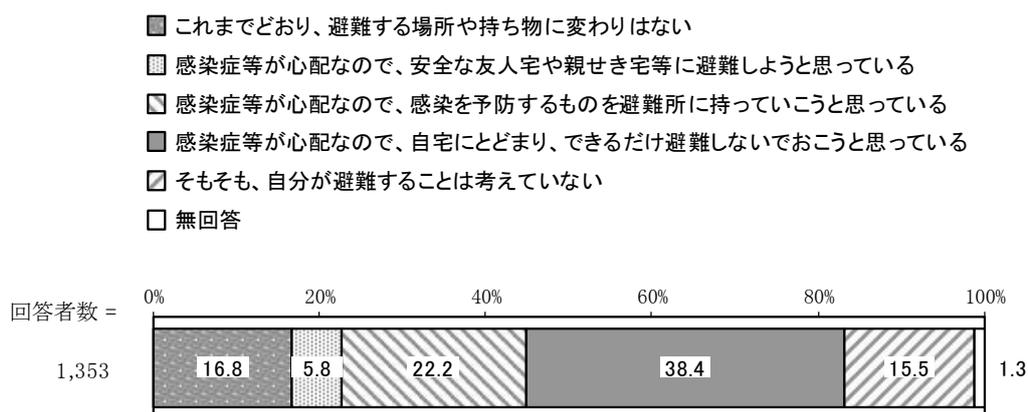
図表 1-12 風水害の際に避難する場所や方法（居住地域別）



問 18 あなたは、新型コロナウイルス感染症が収束しない中であって、風水害時に避難する場所や持ち物に関して意識していることはありますか。  
(最もあてはまるものに1つだけ○印)

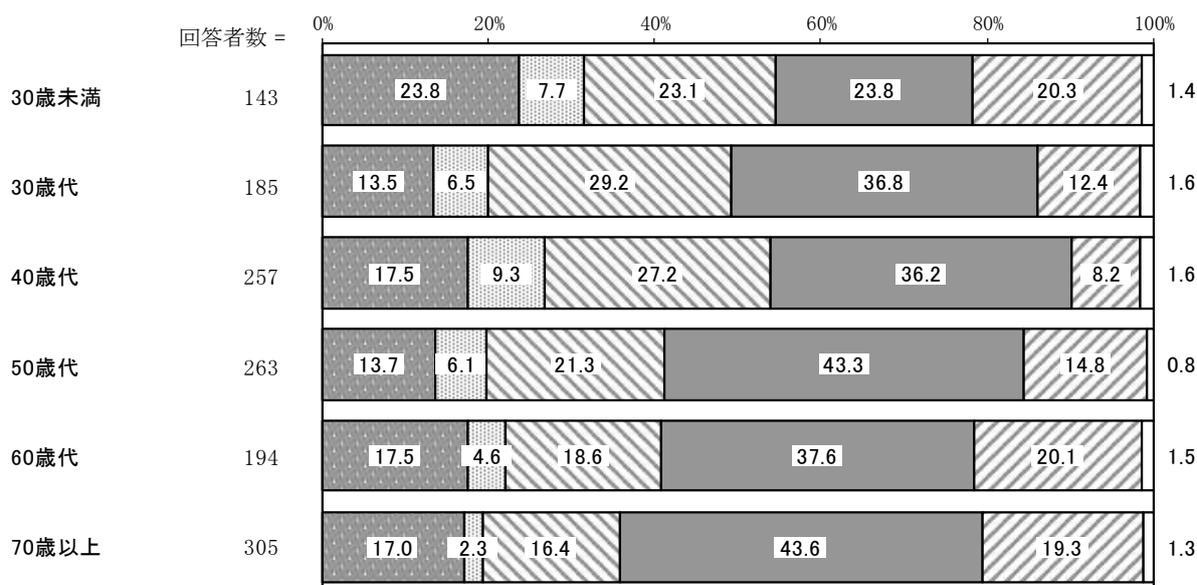
「感染症等が心配なので、自宅にとどまり、できるだけ避難しないでおこうと思っている」の割合が38.4%と最も高く、次いで「感染症等が心配なので、感染を予防するものを避難所に持っていこうと思っている」の割合が22.2%、「これまでどおり、避難する場所や持ち物に変わりはない」の割合が16.8%となっています。

図表 1-13 風水害時に避難する場所や持ち物に関して意識していること（単純回答）



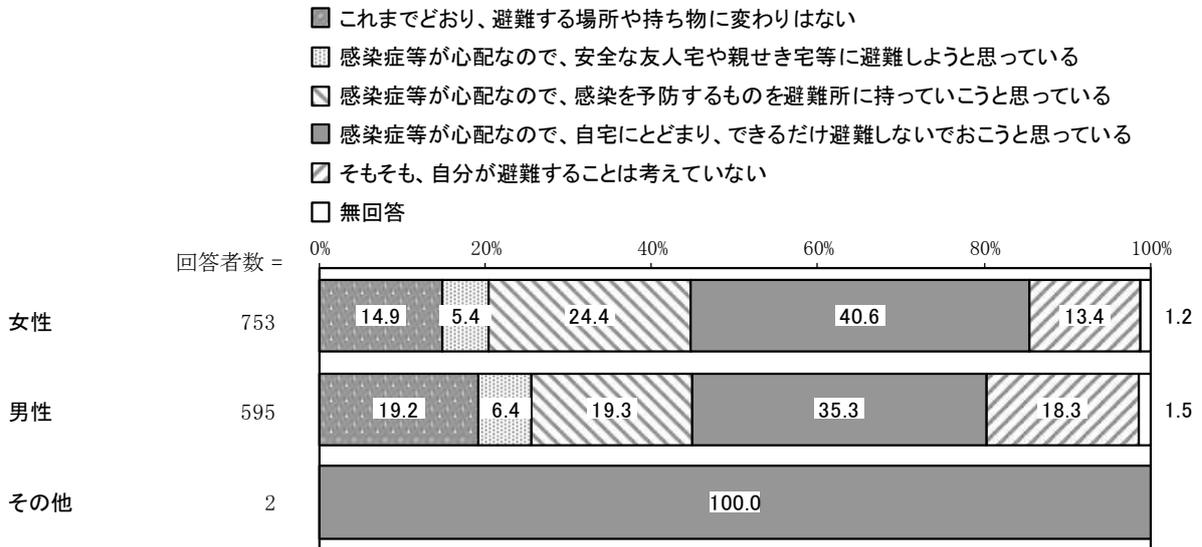
年齢別で見ると、他に比べ、30歳未満で「これまでどおり、避難する場所や持ち物に変わりはない」の割合が高くなっています。また、50歳代、70歳以上で「感染症等が心配なので、自宅にとどまり、できるだけ避難しないでおこうと思っている」の割合が高くなっています。

図表 1-14 風水害時に避難する場所や持ち物に関して意識していること（年齢別）



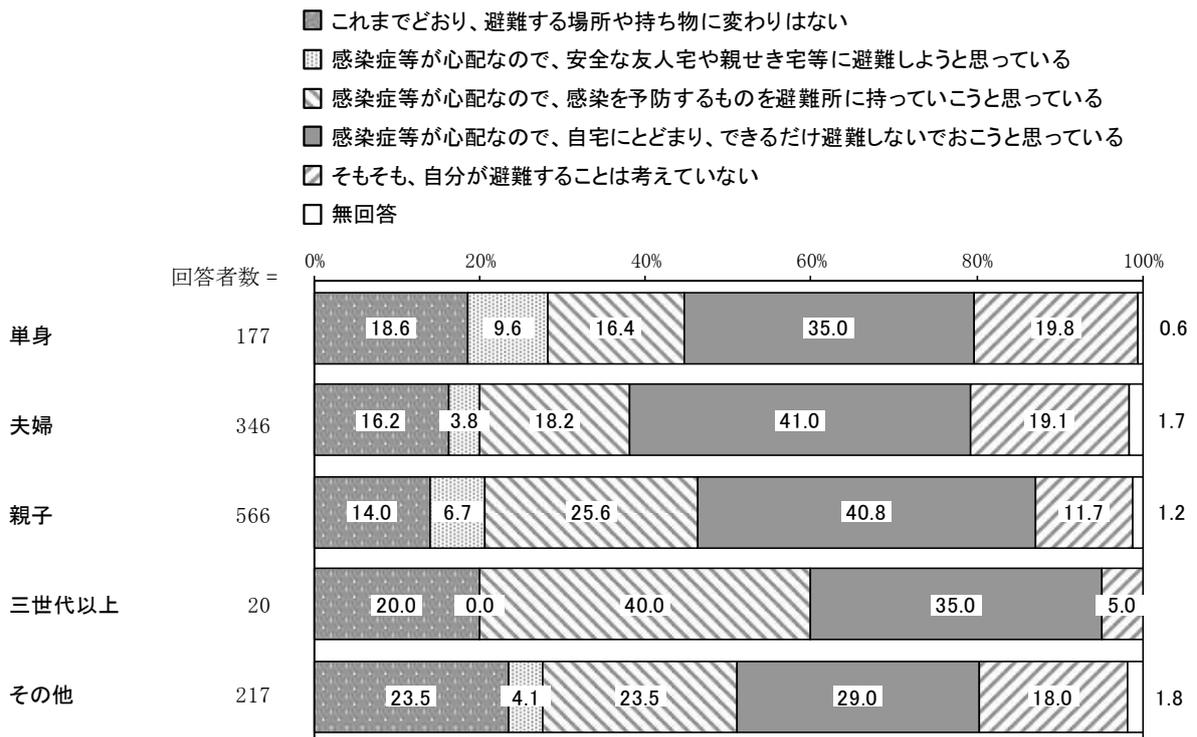
性別でみると、男性に比べ、女性で「感染症等が心配なので、感染を予防するものを避難所に持っていかうと思っている」「感染症等が心配なので、自宅にとどまり、できるだけ避難しないでかおうと思っている」の割合が高くなっています。

図表 1-15 風水害時に避難する場所や持ち物に関して意識していること（性別）



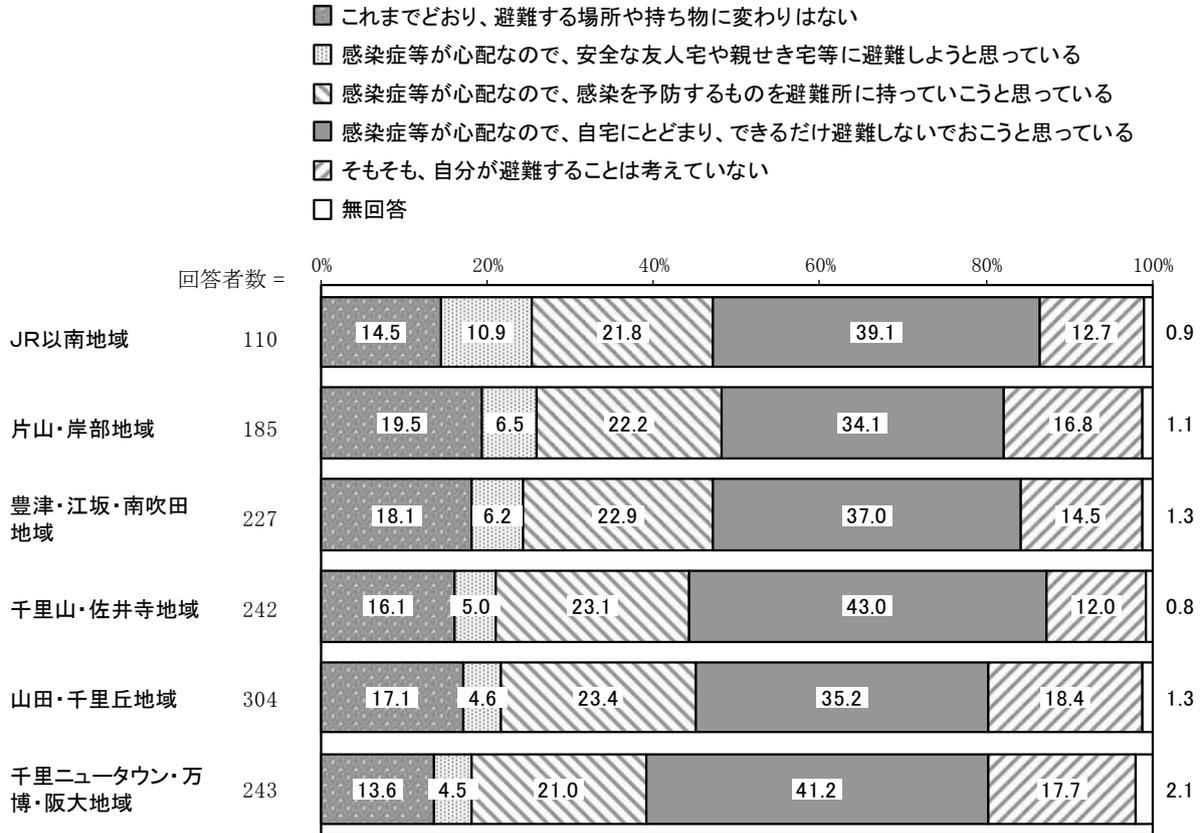
家族構成別でみると、他に比べ、三世代以上で「感染症等が心配なので、感染を予防するものを避難所に持っていかうと思っている」の割合が高くなっています。また、夫婦、親子で「感染症等が心配なので、自宅にとどまり、できるだけ避難しないでかおうと思っている」の割合が高くなっています。

図表 1-16 風水害時に避難する場所や持ち物に関して意識していること（家族構成別）



居住地域別で見ると、他に比べ、千里山・佐井寺地域、千里ニュータウン・万博・阪大地域で「感染症等が心配なので、自宅にとどまり、できるだけ避難しないでおこうと思っている」の割合が高くなっています。

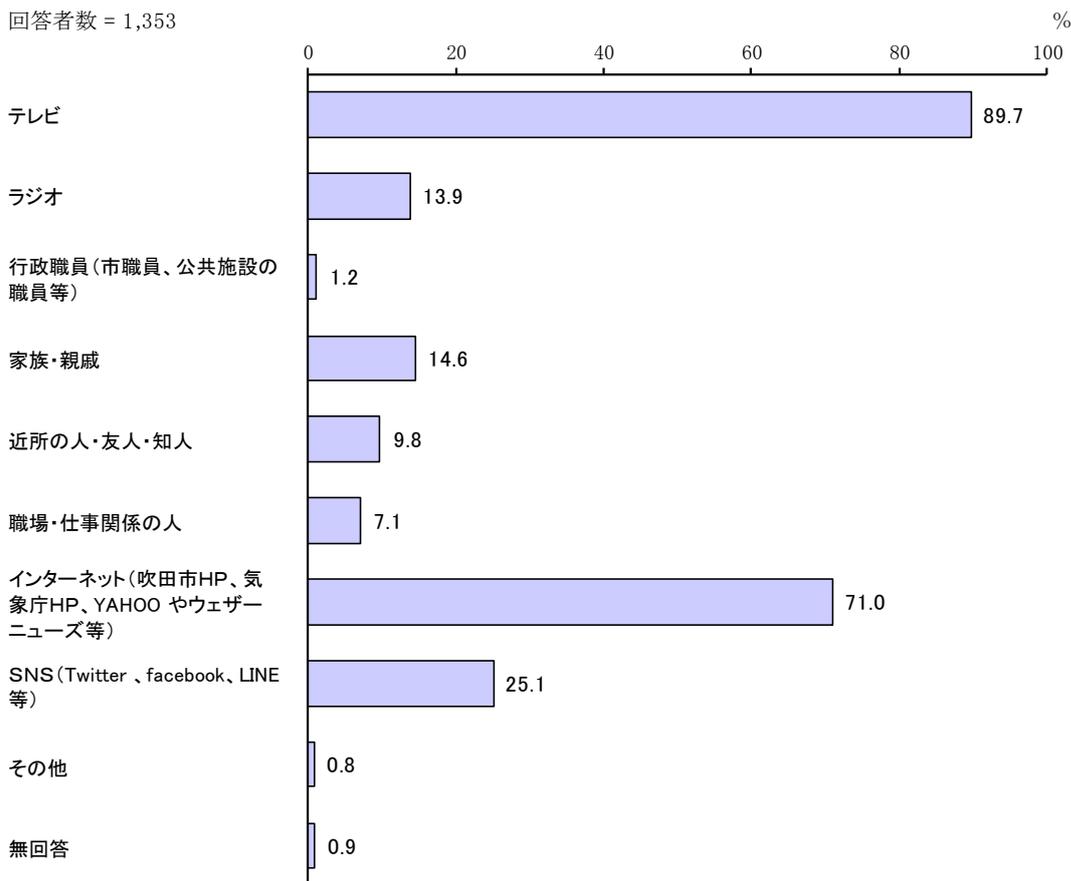
図表 1-17 風水害時に避難する場所や持ち物に関して意識していること（居住地域別）



問 19 あなたは台風や大雨の時、気象警報や避難情報などの情報をどこから入手しますか。(いくつでも○印)

「テレビ」の割合が 89.7%と最も高く、次いで「インターネット（吹田市HP、気象庁HP、YAHOO やウェザーニュース等）」の割合が 71.0%、「SNS（Twitter、facebook、LINE 等）」の割合が 25.1%となっています。

図表 1-18 気象警報や避難情報などの情報の入手方法（単純回答）



年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「テレビ」「ラジオ」の割合が高くなる傾向がみられます。また、年齢が低くなるにつれ「SNS (Twitter、facebook、LINE等)」の割合が高くなる傾向がみられます。

図表1-19 気象警報や避難情報などの情報の入手方法（年齢別）

単位：%

区分	有効回答数(件)	テレビ	ラジオ	行政職員(市職員、公共施設の職員等)	家族・親戚	近所の人・友人・知人	職場・仕事関係の人	インターネット(吹田市HP、気象庁HP、YAHOOやウェザーニュース等)	SNS (Twitter、facebook、LINE等)	その他	無回答
30歳未満	143	76.9	1.4	—	18.2	7.0	9.1	76.9	64.3	1.4	0.7
30歳代	185	84.9	5.4	2.2	15.1	9.2	10.3	88.6	39.5	—	1.1
40歳代	257	89.1	10.9	1.2	11.3	10.1	8.6	86.4	26.1	1.2	0.8
50歳代	263	89.7	14.1	0.8	12.5	6.8	10.3	84.0	22.1	—	1.1
60歳代	194	95.9	16.5	—	12.4	5.7	6.2	70.1	11.3	—	0.5
70歳以上	305	95.4	25.2	2.3	17.7	16.4	1.0	34.1	8.5	2.0	1.0

性別でみると、男性に比べ、女性で「家族・親戚」「近所の人・友人・知人」「SNS (Twitter、facebook、LINE等)」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「インターネット(吹田市HP、気象庁HP、YAHOOやウェザーニュース等)」の割合が高くなっています。

図表1-20 気象警報や避難情報などの情報の入手方法（性別）

単位：%

区分	有効回答数(件)	テレビ	ラジオ	行政職員(市職員、公共施設の職員等)	家族・親戚	近所の人・友人・知人	職場・仕事関係の人	インターネット(吹田市HP、気象庁HP、YAHOOやウェザーニュース等)	SNS (Twitter、facebook、LINE等)	その他	無回答
女性	753	91.1	13.0	0.9	18.1	12.4	7.2	68.0	27.4	0.7	0.7
男性	595	87.9	15.1	1.5	10.1	6.6	7.1	74.6	22.0	0.8	1.2
その他	2	100.0	—	—	—	—	—	100.0	100.0	50.0	—

家族構成別でみると、他に比べ、三世代以上で「インターネット（吹田市HP、気象庁HP、YAHOO やウェザーニュース等）」「SNS（Twitter、facebook、LINE等）」の割合が高くなっています。また、単身で「職場・仕事関係の人」の割合が高くなっています。

図表 1-21 気象警報や避難情報などの情報の入手方法（家族構成別）

単位：%

区分	有効回答数 (件)	テレビ	ラジオ	行政職員(市職員、公共施設 の職員等)	家族・親戚	近所の人・友人・知人	職場・仕事関係の人	インターネット(吹田市 HP、気象庁HP、YAHOO やウェザーニュース等)	SNS (Twitter、 facebook、LINE等)	その他	無回答
単身	177	83.6	21.5	2.3	14.1	16.4	11.9	60.5	22.6	3.4	0.6
夫婦	346	92.8	15.0	1.2	13.6	8.4	4.0	62.7	16.2	0.6	1.4
親子	566	91.3	12.7	1.2	13.3	10.2	6.5	81.3	25.6	0.4	0.7
三世代以上	20	90.0	5.0	—	15.0	—	5.0	90.0	40.0	—	—
その他	217	87.1	8.3	—	19.4	5.5	9.7	65.9	38.2	0.5	0.9

居住形態別でみると、他に比べ、持ち家（一戸建て、タウンハウス）、府営・市営（賃貸）で「テレビ」の割合が、社宅・寮で「インターネット（吹田市HP、気象庁HP、YAHOO やウェザーニュース等）」の割合が高くなっています。

図表 1-22 気象警報や避難情報などの情報の入手方法（居住形態別）

単位：%

区分	有効回答数 (件)	テレビ	ラジオ	行政職員(市職員、公共施設 の職員等)	家族・親戚	近所の人・友人・知人	職場・仕事関係の人	インターネット(吹田市 HP、気象庁HP、YAHOO やウェザーニュース等)	SNS (Twitter、 facebook、LINE等)	その他	無回答
持ち家(一戸建て、タウン ハウス)	416	93.3	16.3	1.0	13.9	8.9	7.2	67.5	21.9	1.0	0.2
持ち家(マンション)	497	90.3	13.5	1.0	13.9	9.5	5.4	74.0	24.7	0.6	1.4
民間賃貸(一戸建て)	16	87.5	31.3	—	37.5	18.8	12.5	75.0	18.8	6.3	—
民間賃貸(マンション、 アパート、文化住宅)	249	84.7	8.4	1.6	14.9	8.8	10.4	79.5	32.9	0.8	0.8
公団・公社(賃貸)	62	83.9	17.7	—	16.1	12.9	4.8	50.0	14.5	—	3.2
府営・市営(賃貸)	48	93.8	18.8	2.1	14.6	20.8	4.2	45.8	25.0	—	—
社宅・寮	30	86.7	3.3	3.3	16.7	10.0	16.7	93.3	43.3	3.3	—
その他	9	100.0	22.2	11.1	11.1	11.1	—	77.8	—	—	—

居住地域別でみると、他に比べ、千里山・佐井寺地域、山田・千里丘地域で「インターネット（吹田市HP、気象庁HP、YAHOO やウェザーニューズ等）」の割合が高くなっています。

図表 1-23 気象警報や避難情報などの情報の入手方法（居住地域別）

単位：%

区分	有効回答数（件）	テレビ	ラジオ	行政職員（市職員、公共施設の職員等）	家族・親戚	近所の人・友人・知人	職場・仕事関係の人	インターネット（吹田市HP、気象庁HP、YAHOO やウェザーニューズ等）	SNS（Twitter、facebook、LINE等）	その他	無回答
JR以南地域	110	90.0	15.5	1.8	21.8	10.9	3.6	62.7	22.7	—	—
片山・岸部地域	185	88.6	15.7	1.6	13.0	8.1	7.0	68.6	20.5	1.1	1.1
豊津・江坂・南吹田地域	227	87.2	14.5	1.8	14.5	9.3	10.6	71.8	28.6	1.3	0.9
千里山・佐井寺地域	242	91.3	12.0	0.8	12.8	7.9	9.1	75.6	28.9	—	0.8
山田・千里丘地域	304	91.1	13.8	1.3	13.2	11.8	6.3	74.0	23.0	0.7	0.3
千里ニュータウン・万博・阪大地域	243	89.7	12.8	0.4	14.8	9.5	4.1	69.5	25.5	1.6	1.6

自治会への加入別でみると、他に比べ、自治会加入者で「テレビ」の割合が高くなっています。また、自治会未加入者で「インターネット（吹田市HP、気象庁HP、YAHOO やウェザーニューズ等）」、「SNS（Twitter、facebook、LINE等）」の割合が高くなっています。

図表 1-24 気象警報や避難情報などの情報の入手方法（自治会への加入別）

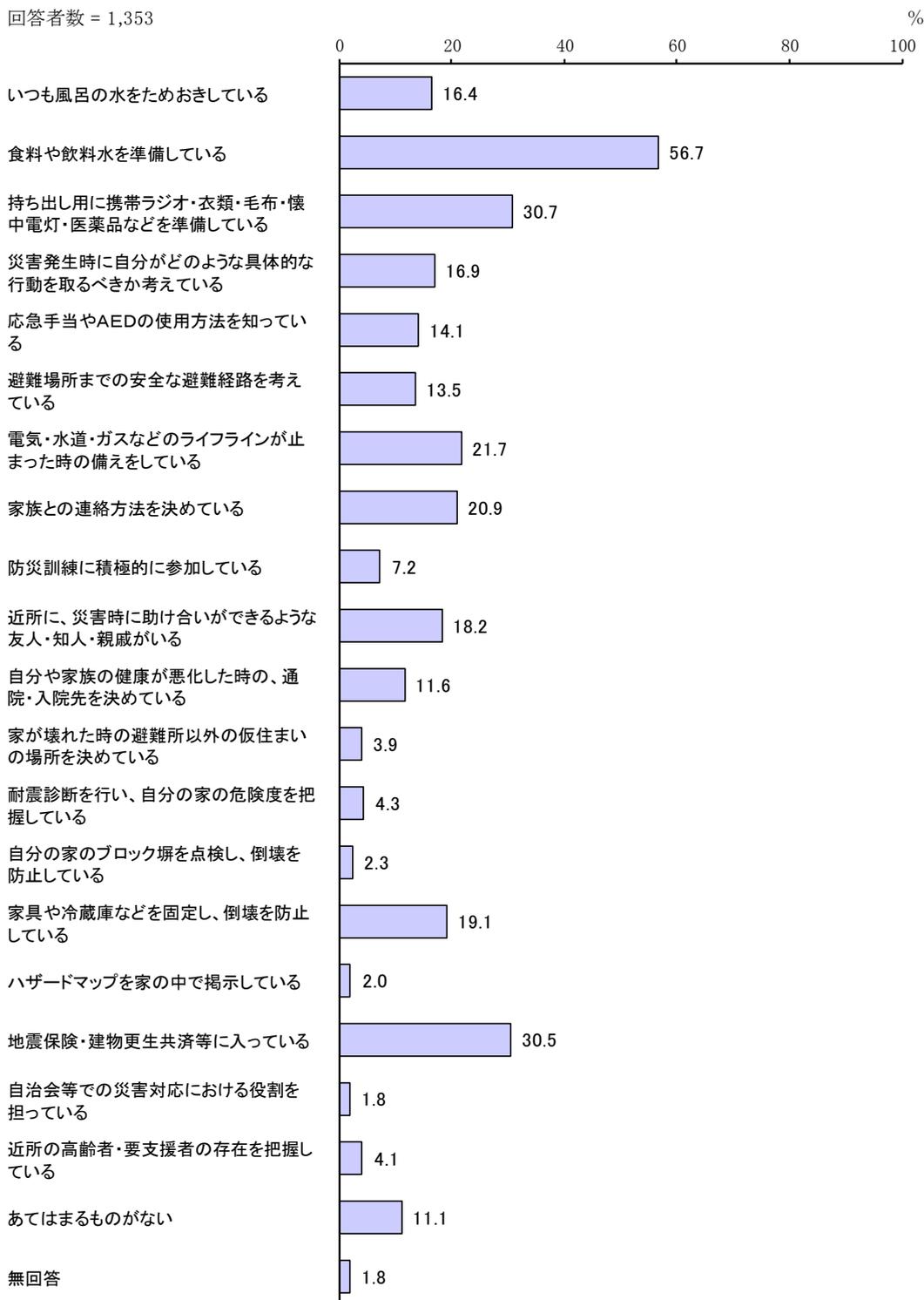
単位：%

区分	有効回答数（件）	テレビ	ラジオ	行政職員（市職員、公共施設の職員等）	家族・親戚	近所の人・友人・知人	職場・仕事関係の人	インターネット（吹田市HP、気象庁HP、YAHOO やウェザーニューズ等）	SNS（Twitter、facebook、LINE等）	その他	無回答
加入している	690	92.2	17.4	1.2	15.1	11.7	5.8	67.4	19.3	0.6	0.7
加入していない	524	89.3	11.1	1.5	13.9	7.4	9.5	76.1	29.8	0.6	1.0
わからない	129	79.1	7.0	—	14.7	7.8	3.9	72.1	38.0	2.3	0.8

問 20 あなたは、地震や風水害などの災害に備えていることはありますか  
(いくつでも○印)

「食料や飲料水を準備している」の割合が 56.7%と最も高く、次いで「持ち出し用に携帯ラジオ・衣類・毛布・懐中電灯・医薬品などを準備している」の割合が 30.7%、「地震保険・建物更生共済等に入っている」の割合が 30.5%となっています。

図表 1-25 地震や風水害などの災害に備えていること (単純回答)



年齢別でみると、他に比べ、30歳代、40歳代で「食料や飲料水を準備している」の割合が高くなっています。

図表1-26 地震や風水害などの災害に備えていること（年齢別）

単位：%

区分	有効回答数（件）	いつも風呂の水をためおきしている	食料や飲料水を準備している	品類・毛布・懐中電灯・医薬品などを準備している	持ち出し用に携帯ラジオ・衣類・毛布・懐中電灯・医薬品などを準備している	災害発生時に自分がどのような具体的な行動を取るべきかを考えている	応急手当やAEDの使用方法を知っている	避難場所までの安全な避難経路を考えている	電気・水道・ガスなどのライフラインが止まった時の備えをしている	家族との連絡方法を決めている	防災訓練に積極的に参加している	近所に、災害時に助け合いができるような友人・知人・親戚がいる
30歳未満	143	6.3	46.9	28.7	21.0	23.1	9.8	14.0	19.6	2.1	9.1	
30歳代	185	6.5	62.7	36.8	16.8	17.8	13.5	18.9	19.5	4.9	16.8	
40歳代	257	9.3	63.4	30.4	16.0	11.7	9.7	21.4	16.7	3.1	18.3	
50歳代	263	17.1	58.2	31.9	16.3	16.0	12.2	25.1	22.8	4.6	14.4	
60歳代	194	18.0	53.1	28.9	11.9	15.5	11.9	24.2	18.0	8.8	17.5	
70歳以上	305	31.1	52.1	28.2	19.7	7.5	20.3	22.3	25.9	15.7	27.2	

区分	自分や家族の健康が悪化した時の、通院・入院先を決めている	家が壊れた時の避難所以外の仮住まいの場所を決めている	耐震診断を行い、自分の家の危険度を把握している	自分の家のブロック塀を点検し、倒壊を防止している	家具や冷蔵庫などを固定し、倒壊を防止している	ハザードマップを家の中で掲示している	地震保険・建物更生共済等に入っている	自治会等での災害対応における役割を担っている	近所の高齢者・要支援者の存在を把握している	あてはまるものがない	無回答
30歳未満	2.1	2.8	1.4	0.7	18.9	1.4	16.8	—	0.7	13.3	2.1
30歳代	3.8	2.2	4.3	0.5	16.2	2.2	23.2	—	1.1	14.6	2.2
40歳代	5.8	2.7	3.5	2.3	18.7	1.2	29.6	0.4	1.6	14.0	1.9
50歳代	7.6	4.6	3.8	2.3	21.7	1.5	34.6	1.1	2.7	9.9	1.5
60歳代	14.4	3.1	5.7	1.5	19.6	0.5	30.9	3.1	7.2	12.9	2.6
70歳以上	27.2	6.6	5.6	4.6	18.7	4.3	37.7	4.6	9.2	5.6	1.3

性別で見ると、男性に比べ、女性で「いつも風呂の水をためおきしている」「食料や飲料水を準備している」「電気・水道・ガスなどのライフラインが止まった時の備えをしている」「近所に、災害時に助け合いができるような友人・知人・親戚がいる」の割合が高くなっています。

図表 1-27 地震や風水害などの災害に備えていること（性別）

単位：％

区分	有効回答数（件）	いつも風呂の水をためおきしている	食料や飲料水を準備している	持ち出し用に携帯ラジオ・衣類・毛布・懐中電灯・医薬品などを準備している	災害発生時に自分がどのような具体的な行動を取るべきか考えている	応急手当やAEDの使用方法を知っている	避難場所までの安全な避難経路を考えている	電気・水道・ガスなどのライフラインが止まった時の備えをしている	家族との連絡方法を決めている	防災訓練に積極的に参加している	近所に、災害時に助け合いができるような友人・知人・親戚がいる
女性	753	19.0	61.1	29.5	16.1	13.8	12.4	24.2	22.6	6.6	21.9
男性	595	12.8	50.9	31.9	17.8	14.5	14.8	18.5	18.5	7.7	13.6
その他	2	50.0	50.0	50.0	—	50.0	—	50.0	50.0	—	—

区分	自分や家族の健康が悪化した時の、通院・入院先を決めている	家が壊れた時の避難所以外の仮住まいの場所を決めている	耐震診断を行い、自分の家の危険度を把握している	自分の家のブロック塀を点検し、倒壊を防止している	家具や冷蔵庫などを固定し、倒壊を防止している	ハザードマップを家の中で掲示している	地震保険・建物更生共済等に入っている	自治会等での災害対応における役割を担っている	近所の高齢者・要支援者の存在を把握している	あてはまるものがない	無回答
女性	12.7	4.0	3.7	2.4	21.1	2.3	30.3	0.9	4.6	9.0	1.6
男性	10.1	3.9	4.9	2.2	16.1	1.7	30.4	2.9	3.4	13.8	2.2
その他	—	—	—	—	50.0	—	50.0	—	—	—	—

家族構成別でみると、どの世帯においても「食料や飲料水を準備している」の割合が高くなっています。

図表 1-28 地震や風水害などの災害に備えていること（家族構成別）

単位：%

区分	有効回答数（件）	いつも風呂の水をためおきしている	食料や飲料水を準備している	持ち出し用に携帯ラジオ・衣類・毛布・懐中電灯・医薬品などを準備している	災害発生時に自分がどのような具体的な行動を取るべきかを考えている	応急手当やAEDの使用方法を知っている	避難場所までの安全な避難経路を考えている	電気・水道・ガスなどのライフラインが止まった時の備えをしている	家族との連絡方法を決めている	防災訓練に積極的に参加している	近所に、災害時に助け合いができるような友人・知人・親戚がいる
単身	177	12.4	46.3	26.6	17.5	11.3	14.1	13.0	16.4	5.1	20.3
夫婦	346	21.1	54.0	29.5	16.2	13.9	14.5	22.8	23.4	12.1	20.8
親子	566	15.7	65.2	36.4	16.8	15.5	12.7	25.6	21.0	6.2	19.6
三世代以上	20	20.0	65.0	35.0	15.0	20.0	10.0	25.0	20.0	—	15.0
その他	217	12.4	47.5	22.1	18.9	12.9	12.4	18.0	21.7	4.6	9.2

区分	自分や家族の健康が悪化した時の、通院・入院先を決めている	家が壊れた時の避難所以外の仮住まいの場所を決めている	耐震診断を行い、自分の家の危険度を把握している	自分の家のブロック塀を点検し、倒壊を防止している	家具や冷蔵庫などを固定し、倒壊を防止している	ハザードマップを家の中で掲示している	地震保険・建物更生共済等に入っている	自治会等での災害対応における役割を担っている	近所の高齢者・要支援者の存在を把握している	あてはまるものがない	無回答
単身	8.5	4.5	1.7	0.6	13.0	4.0	21.5	—	2.3	13.6	1.7
夫婦	19.1	5.5	4.9	3.2	20.2	2.0	34.1	3.8	6.6	11.3	1.7
親子	9.2	3.2	4.4	1.8	20.7	1.1	34.1	1.2	3.2	8.7	1.2
三世代以上	10.0	—	10.0	10.0	25.0	5.0	25.0	5.0	5.0	15.0	5.0
その他	7.8	2.8	3.7	3.2	19.4	2.8	22.1	1.4	3.7	15.2	2.8

居住形態別で見ると、他に比べ、社宅・寮で「食料や飲料水を準備している」の割合が高くなっています。

図表 1-29 地震や風水害などの災害に備えていること（居住形態別）

単位：%

区分	有効回答数（件）	いつも風呂の水をためおきしている	食料や飲料水を準備している	衣類・毛布・懐中電灯・医薬品などを準備している	持ち出し用に携帯ラジオ・食料・水などを準備している	災害発生時に自分がどのような具体的な行動を取るべきか考えている	応急手当やAEDの使用方法を知っている	避難場所までの安全な避難経路を考えている	電気・水道・ガスなどのライフラインが止まった時の備えをしている	家族との連絡方法を決めている	防災訓練に積極的に参加している	近所に、災害時に助け合いができるような友人・知人・親戚がいる
持ち家（一戸建て、タウンハウス）	416	18.0	56.0	27.4	17.3	13.0	15.1	23.8	21.4	8.7	21.2	
持ち家（マンション）	497	14.5	60.8	33.4	15.9	16.3	12.9	23.9	20.3	8.9	19.5	
民間賃貸（一戸建て）	16	31.3	43.8	31.3	18.8	12.5	12.5	18.8	12.5	6.3	12.5	
民間賃貸（マンション、アパート、文化住宅）	249	8.4	54.2	34.1	20.1	14.5	10.8	14.5	18.5	1.6	11.2	
公団・公社（賃貸）	62	32.3	46.8	19.4	6.5	8.1	19.4	11.3	16.1	4.8	11.3	
府営・市営（賃貸）	48	31.3	47.9	22.9	14.6	8.3	8.3	25.0	29.2	8.3	25.0	
社宅・寮	30	16.7	73.3	53.3	30.0	26.7	23.3	33.3	33.3	3.3	16.7	
その他	9	11.1	22.2	33.3	11.1	—	11.1	11.1	22.2	22.2	11.1	

区分	自分や家族の健康が悪化した時の、通院・入院先を決めている	家が壊れた時の避難所以外の仮住まいの場所を決めている	耐震診断を行い、自分の家の危険度を把握している	自分の家のブロック塀を点検し、倒壊を防止している	家具や冷蔵庫などを固定し、倒壊を防止している	ハザードマップを家の中で掲示している	地震保険・建物更生共済等に入っている	自治会等での災害対応における役割を担っている	近所の高齢者・要支援者の存在を把握している	あてはまるものがない	無回答
持ち家（一戸建て、タウンハウス）	14.7	5.5	6.3	6.7	17.1	2.6	39.2	1.9	7.2	8.9	1.4
持ち家（マンション）	11.5	2.2	5.4	0.2	24.5	1.0	38.6	2.0	3.2	9.7	2.0
民間賃貸（一戸建て）	18.8	12.5	6.3	—	6.3	6.3	18.8	—	12.5	12.5	6.3
民間賃貸（マンション、アパート、文化住宅）	5.6	4.0	0.4	0.4	14.1	2.8	11.2	—	0.4	15.7	0.8
公団・公社（賃貸）	12.9	1.6	—	—	9.7	1.6	16.1	4.8	3.2	16.1	8.1
府営・市営（賃貸）	16.7	4.2	2.1	—	25.0	2.1	8.3	4.2	6.3	10.4	—
社宅・寮	10.0	3.3	—	—	13.3	—	13.3	—	—	10.0	3.3
その他	11.1	11.1	11.1	—	11.1	—	22.2	—	11.1	22.2	—

居住地域別でみると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域で「災害発生時に自分がどのような具体的な行動を取るべきか考えている」「応急手当やAEDの使用方法を知っている」の割合が、千里山・佐井寺地域で「地震保険・建物更生共済等に入っている」の割合が、山田・千里丘地域で「家具や冷蔵庫などを固定し、倒壊を防止している」の割合が高くなっています。

図表 1-30 地震や風水害などの災害に備えていること（居住地域別）

単位：%

区分	有効回答数（件）	いつも風呂の水をためおきしている	食料や飲料水を準備している	品類・毛布・懐中電灯・医薬品などを準備している	持ち出し用に携帯ラジオ・衣類・毛布・懐中電灯・医薬品などを準備している	災害発生時に自分がどのような具体的な行動を取るべきか考えている	応急手当やAEDの使用方法を知っている	避難場所までの安全な避難経路を考えている	電気・水道・ガスなどのライフラインが止まった時の備えをしている	家族との連絡方法を決めている	防災訓練に積極的に参加している	近所に、災害時に助け合いができるような友人・知人・親戚がいる
JR以南地域	110	14.5	56.4	26.4	14.5	10.9	11.8	20.9	20.9	8.2	17.3	
片山・岸部地域	185	18.4	56.2	30.8	13.0	10.3	13.5	20.5	16.2	7.6	17.3	
豊津・江坂・南吹田地域	227	13.7	54.2	28.2	25.1	20.3	14.5	22.0	20.7	5.7	18.1	
千里山・佐井寺地域	242	14.9	59.9	30.2	19.4	14.9	16.9	21.9	23.6	5.8	16.9	
山田・千里丘地域	304	16.4	55.3	31.6	16.8	14.1	10.9	21.4	20.1	9.5	19.4	
千里ニュータウン・万博・阪大地域	243	16.5	57.6	35.4	10.3	13.6	14.0	22.2	21.4	6.2	18.1	

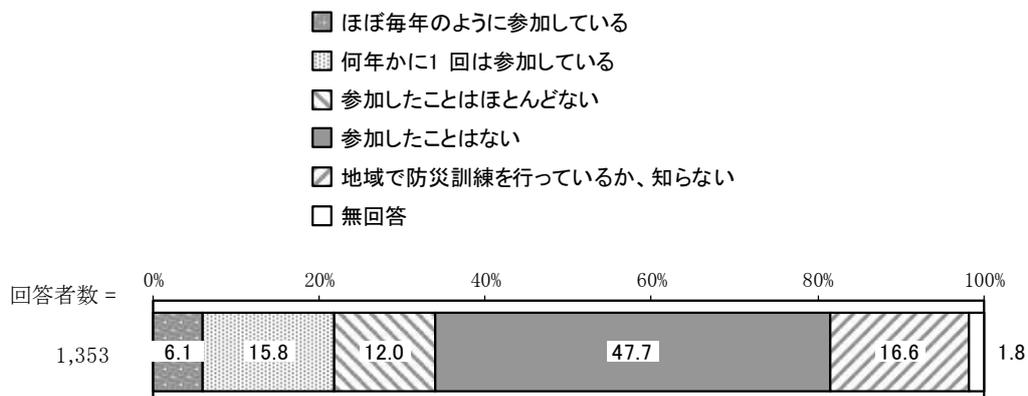
  

区分	自分や家族の健康が悪化した時の、通院・入院先を決めている	家が壊れた時の避難所以外の仮住まいの場所を決めている	耐震診断を行い、自分の家の危険度を把握している	自分の家のブロック塀を点検し、倒壊を防止している	家具や冷蔵庫などを固定し、倒壊を防止している	ハザードマップを家の中で掲示している	地震保険・建物更生共済等に入っている	自治会等での災害対応における役割を担っている	近所の高齢者・要支援者の存在を把握している	あてはまるものがない	無回答
JR以南地域	18.2	4.5	7.3	4.5	17.3	2.7	28.2	0.9	5.5	12.7	2.7
片山・岸部地域	10.3	3.8	1.1	2.7	11.4	2.2	30.3	1.6	1.6	12.4	1.6
豊津・江坂・南吹田地域	9.7	4.0	3.5	2.6	15.0	3.1	28.6	1.8	4.0	15.0	0.9
千里山・佐井寺地域	11.6	5.8	3.7	2.9	20.7	1.7	35.1	1.2	2.9	8.7	1.2
山田・千里丘地域	10.5	3.3	4.6	1.0	24.3	1.0	29.6	3.0	6.3	10.5	2.6
千里ニュータウン・万博・阪大地域	12.8	3.3	5.8	1.6	20.6	2.5	30.5	1.6	3.7	9.1	2.1

問 21 あなたは、お住まいの地域の防災訓練に参加したことがありますか。  
 (最もあてはまるものに1つだけ○印)

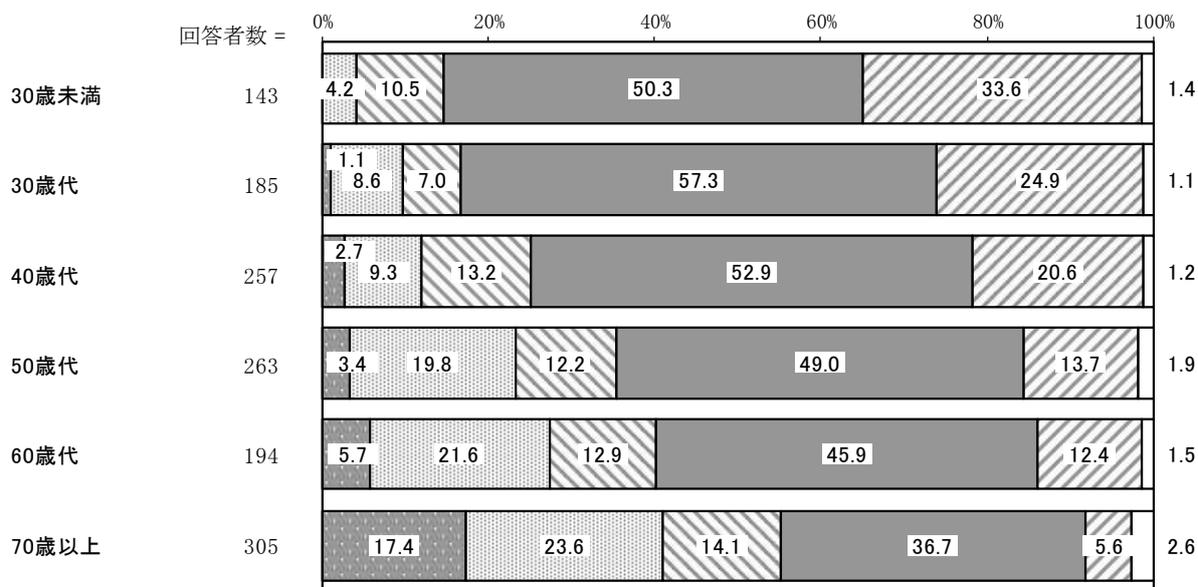
「参加したことはない」の割合が47.7%と最も高く、次いで「地域で防災訓練を行っているか、知らない」の割合が16.6%、「何年かに1回は参加している」の割合が15.8%となっています。

図表 1-31 地域の防災訓練への参加経験 (単純回答)



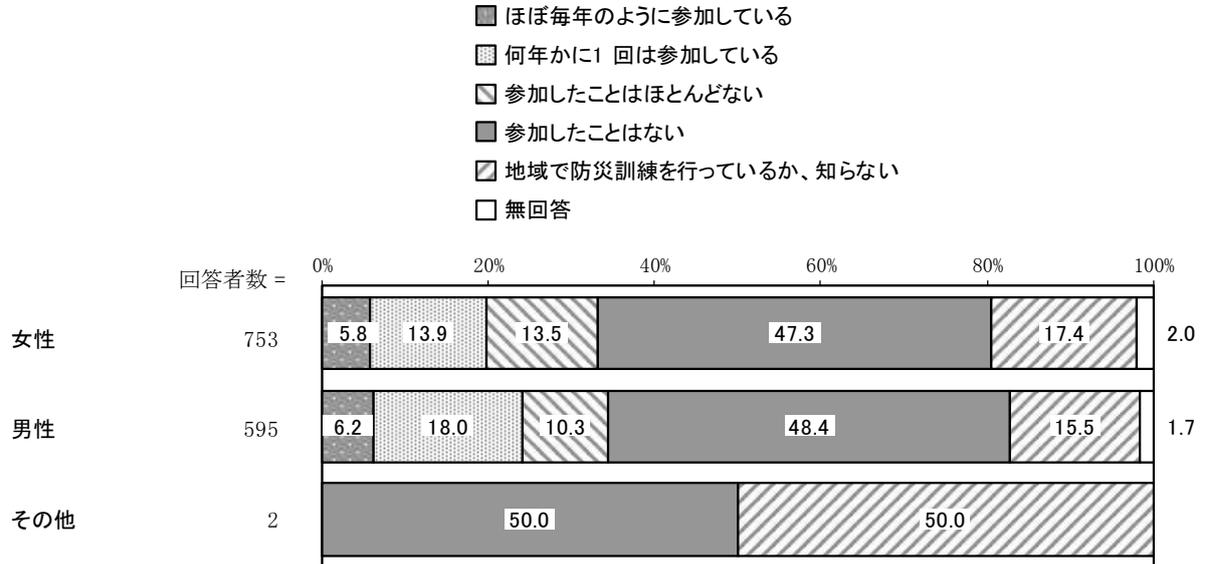
年齢別で見ると、他に比べ、30歳代で「参加したことはない」の割合が高くなっています。また、年齢が低くなるにつれ「地域で防災訓練を行っているか、知らない」の割合が高くなっています。

図表 1-32 地域の防災訓練への参加経験 (年齢別)



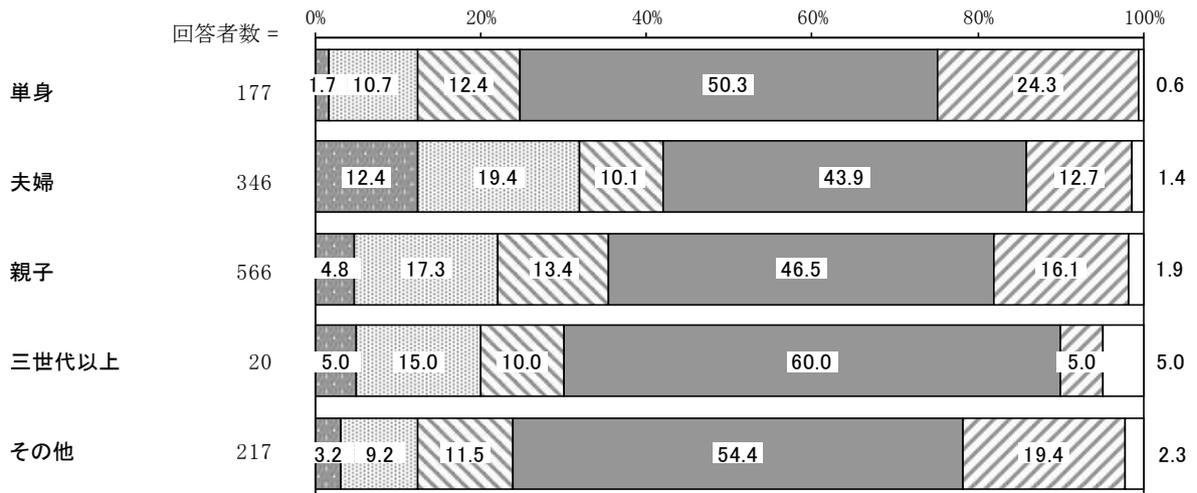
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 1-33 地域の防災訓練への参加経験（性別）



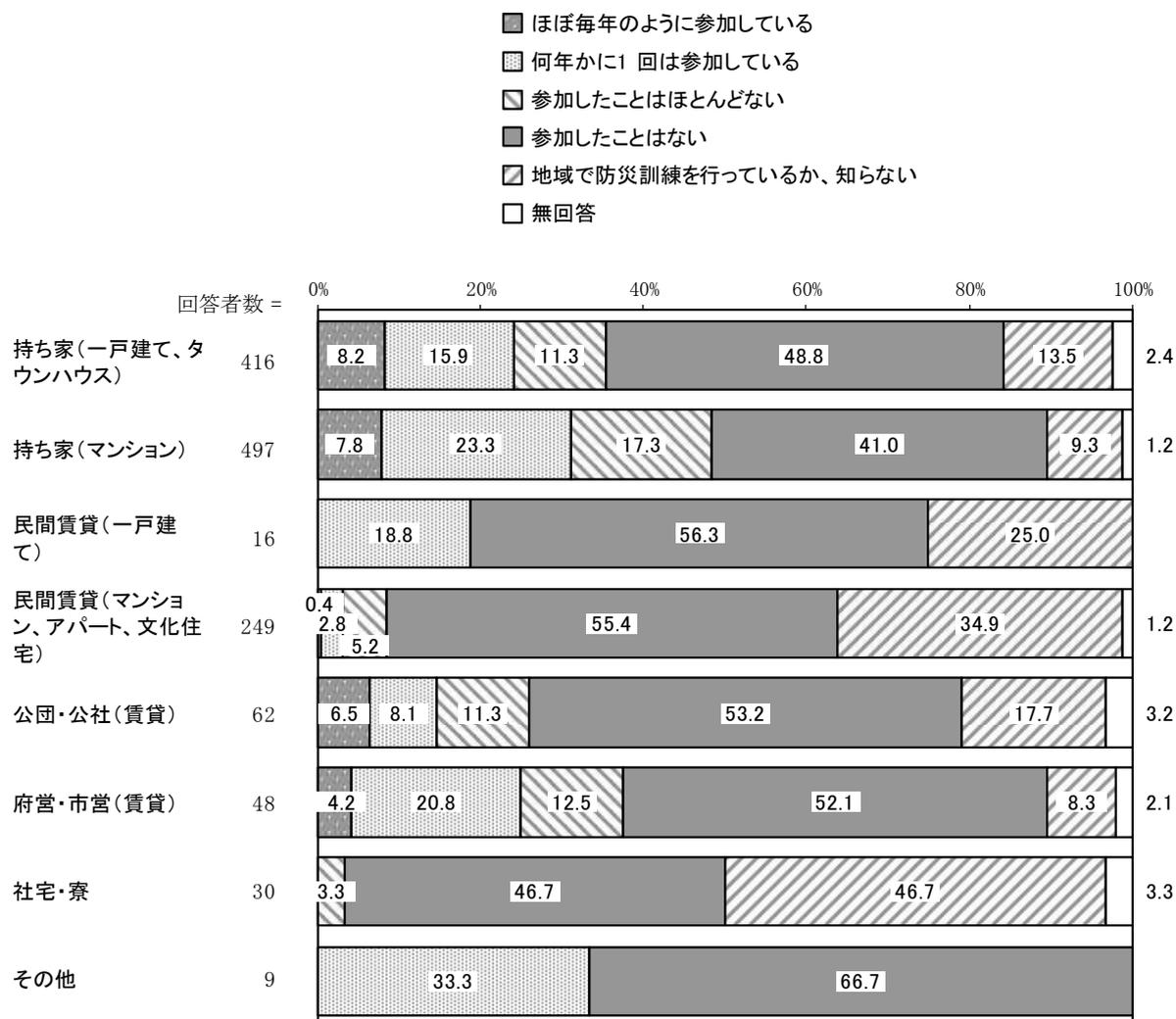
家族構成別でみると、他に比べ、三世代以上で「参加したことはない」の割合が高くなっています。また、単身で「地域で防災訓練を行っているか、知らない」の割合が高くなっています。

図表 1-34 地域の防災訓練への参加経験（家族構成別）



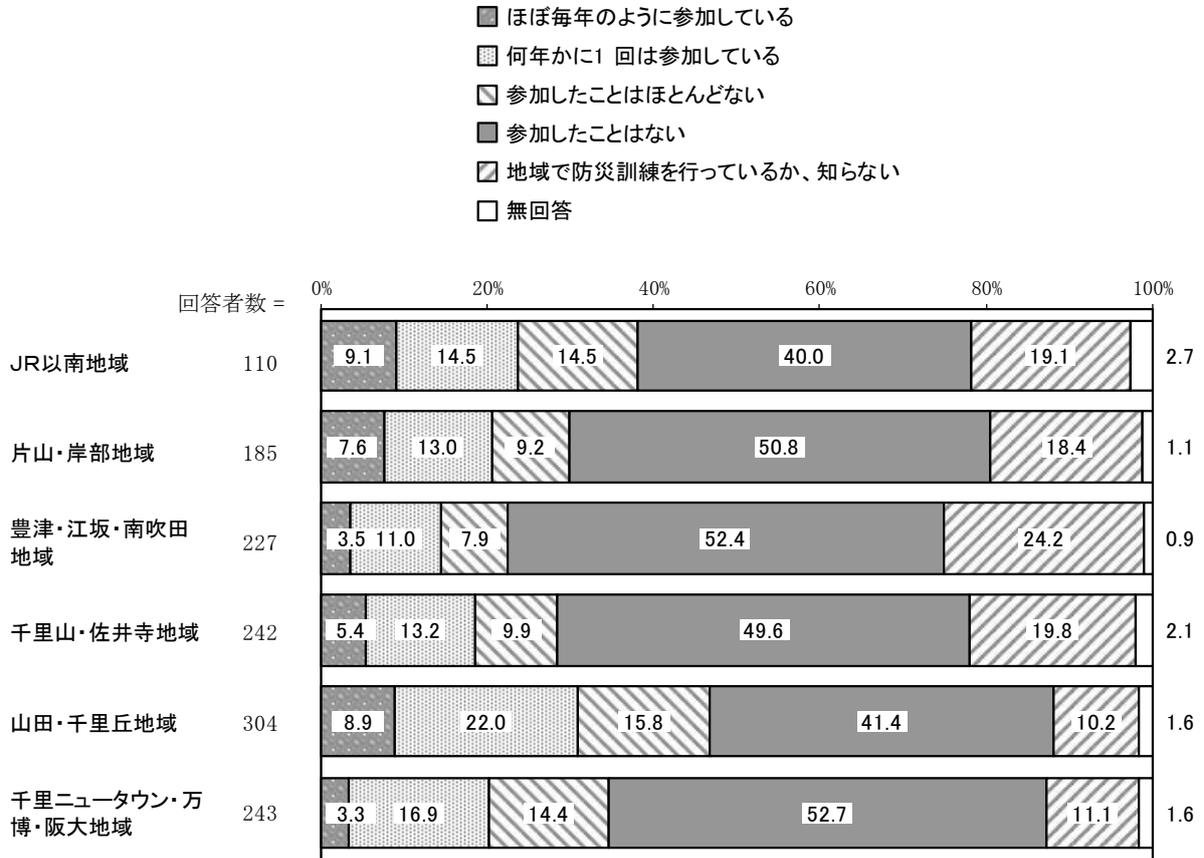
居住形態別で見ると、他に比べ、社宅・寮で「地域で防災訓練を行っているか、知らない」の割合が高くなっています。

図表 1-35 地域の防災訓練への参加経験（居住形態別）



居住地域別でみると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域で「地域で防災訓練を行っているか、知らない」の割合が高くなっています。

図表 1 - 36 地域の防災訓練への参加経験（居住地域別）



自治会への加入別でみると、他に比べ、自治会未加入者で「参加したことはない」の割合が、わからないで「地域で防災訓練を行っているか、知らない」の割合が高くなっています。

図表 1 - 37 地域の防災訓練への参加経験（自治会への加入別）

